

4. Wash and Wear に関する研究 (第2報)

シロセツト加工などの効果におよぼす 処理時間の影響

梶山女学園大 安藤 光代
名倉 光雄

1. 毛織物に対するシロセツト加工法が発明されて、ズボンやスカートなどに半永久的な折目がつけられるようになったことは、毛製品に Wash and Wear の可能性をあたえる一方法としても、衣生活の改善に役立つ研究である。また最近いろいろの折目加工液が市販されているので、これらの折目保持性に対する効果を比較するとともに、主として処理時間(アイロンによる加熱時間)が、その効果にどのように影響するかを検討して、家庭における被服管理の参考資料を得ることを目的とする。

2. 加工法は、規定の処法により調製したシロセツト加工液、市販の折目加工液A及びB、水のみ、水なし、の5方法、RH65%で調湿した 1×4 cmの試片に加工液を噴霧したのち、半折して温度 150°C のアイロンで自重によりプレスして加熱した。加工液または水の量は試片の重量に対して30, 40, 50%の3水準、加熱時間は20~100秒で5水準に変化させた。加工した試片をモノゲン0.5%水溶液に温度 40°C で1分間浸し、室内にて乾燥したのち折目角を測定した。

3. 毛織物の折目保持性に対する加熱時間の影響は、加工法、加工液の種類、濃度、液量などによっても異なるが、加熱時間が40~60秒までは、3種類の加工液ともに、時間が長い程効果が増大するが、それ以上100秒まではほとんど一定であった。